

<多様な担い手の確保に取り組む事例>

## ○小畑で見つけよう感動体験

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	愛知県 <sup>しんしろし</sup> 新城市 <sup>おぼた</sup> 小畑			
協定面積 8.3ha	田 (100%) 水稲	畑	草地	採草放牧地
交付金額 80万円	個人配分			42%
	共同取組活動 (58%)	役員・事務費等		22%
		道路・水路管理費		17%
		農機具購入積立金		19%
協定参加者	農業者 27人 (構成員27人)			開始：平成22年度

### 2. 取組に至る経緯

本集落は高齢化により、農業後継者がいない事や鳥獣被害により耕作出来なくなってしまう、今後ますます遊休農地や耕作放棄地の拡大が予想され集落全体が衰退してしまう危機感が持たれていた。

こうした事を少しでも解消する為、本制度に取組み農村環境の保全と地域の活性化を図る。

### 3. 取組の内容

- ・農用地の管理（清掃・草刈り）を実施。
- ・農業用施設の維持管理（点検・簡易補修・維持修繕）の実施。
- ・農地と一体となった周辺林地の下草刈り等の実施。
- ・鳥獣被害防止のため、協定農用地への柵、ネット等の設置と集落パトロールの実施。



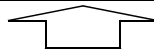
【小畑集落の風景】



【農業体験の様子】

**[集落の将来像]**

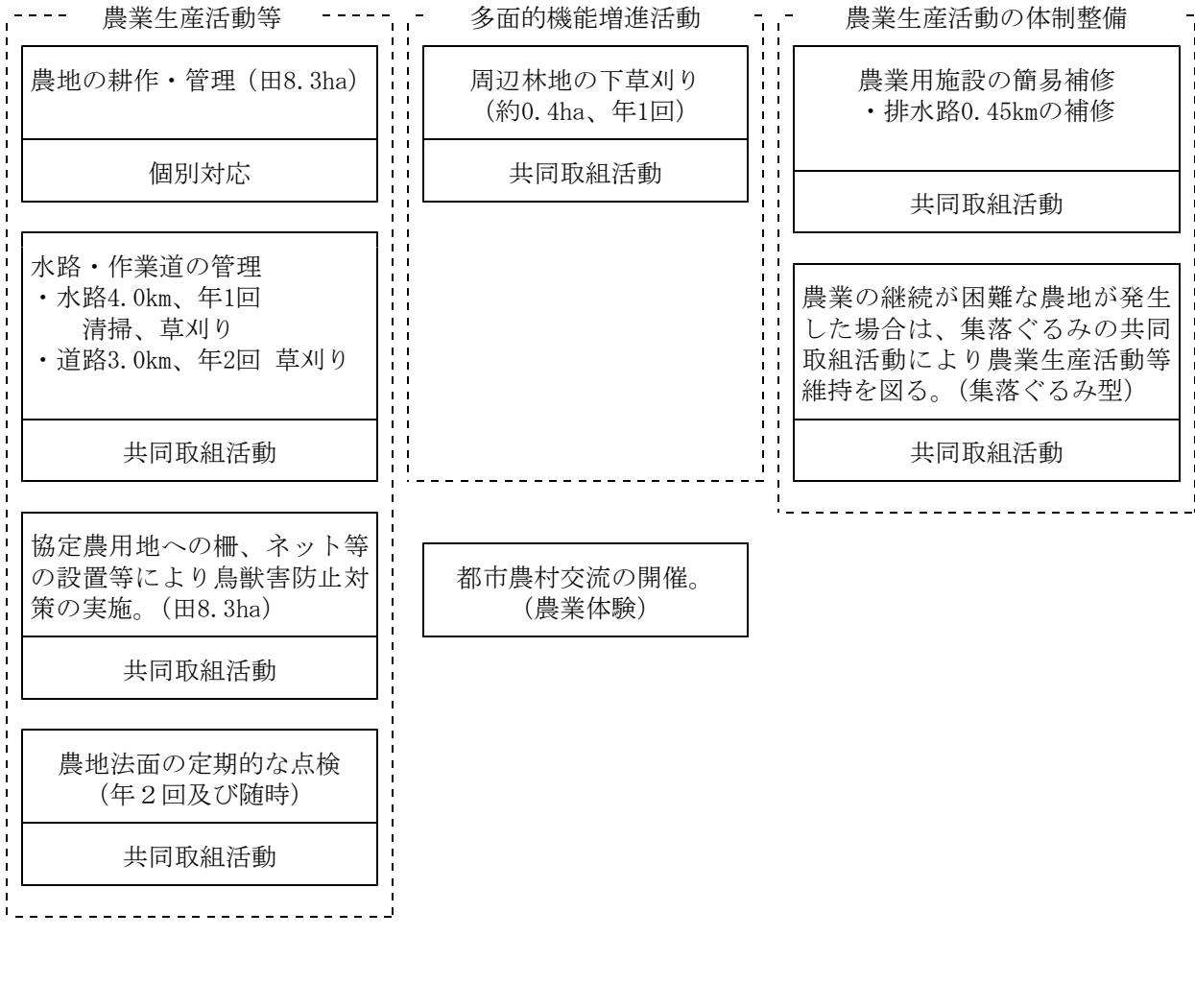
- ・ 集落協定を基礎として、既存の農地を維持・管理し、今後10～15年度も耕作放棄地を出さない。



**[将来像を実現するための活動目標]**

- ・ 共同で支え合う集団的かつ持続可能な体制整備を行い、農業の継続が困難となった農地が生じた場合に備えサポート体制を維持する。

**[活 動 内 容]**



**4. 今後の課題等**

- ・ 地域の活性化が図られ、農業者自らが率先して農地をどのように利活用していくかまた、集落として今後どうあるべきか、集落ビジョンを検討するまでとなった。
- ・ 今後は本協定を基礎として、今ある農村景観を守りながら、都市農村交流を通じて都市住民に食の安全・安心を訴えながら直接に農産物を販売していく